

ユウレイボヤラーバ情報

平成24年10月17日、26日に陸奥湾4定点で第1回ユウレイボヤラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ユウレイボヤラーバの出現数

ユウレイボヤラーバの出現数は図1-2、各地の出現数は図3のとおりです。

10月17日は小湊沖で0.5個/トン、蓬田沖と久栗坂沖で0個/トンでした。

10月26日は蓬田沖で0.5個/トン、久栗坂沖で1.1個/トン、小湊沖で0.5個/トン、川内沖で0個/トンでした。

2 水温の状況

各ブイの10月29日の平均水温は、表1のとおりです。

表1 各ブイの中層における日平均水温(10/29)

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	19.1	東湾ブイ	18.7	横浜ブイ	18.4
蓬田ブイ	19.0	東田沢ブイ	19.2	浜奥内ブイ	18.3
奥内ブイ	19.6	清水川ブイ	18.7	川内ブイ	18.4
青森ブイ	19.2	野辺地ブイ	19.1	脇野沢ブイ	-

-: 欠測

※奥内、野辺地、浜奥内ブイは10m層、それ以外の地点は15m層の値

3 今後の見込み

ユウレイボヤは水温が20℃以下になると産卵するため、これからラーバの出現数が増加する可能性があります。

ユウレイボヤラーバ情報を11月にかけて月3回(上旬、中旬、下旬)発行しますので、例年付着数の多い地域では、今後の情報に注意してください。

4 参考

ユウレイボヤの生態は以下のとおりです。

- ・大規模な産卵は年2回で、秋の産卵時期は水温が20℃以下になる10月～11月。
- ・ユウレイボヤは雌雄同体で、産卵時期になると輸精管に白い精子が、輸卵管に赤い卵が確認できる。
- ・ラーバはオタマジャクシのような形をしていて、大きさは1.2～1.3mm。
- ・ラーバの浮遊期間は約2日と非常に短いため、広範囲に拡散しない。
- ・ラーバは光を嫌う性質があるため、表層よりも20m以深の中層に多い。

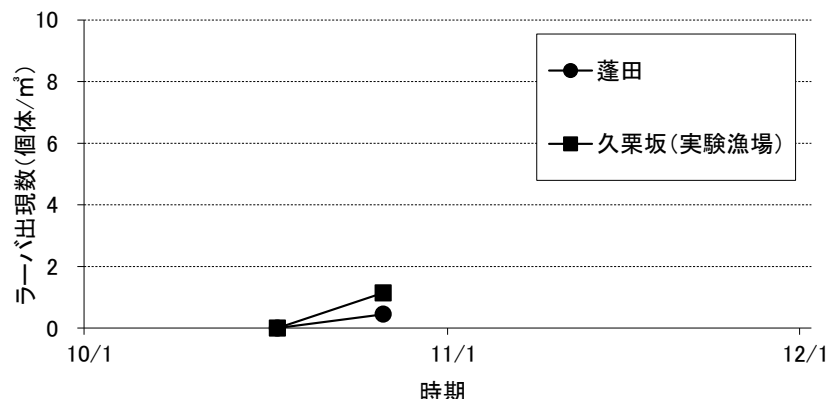


図1 ユウレイボヤラーバ出現数の推移(西湾)

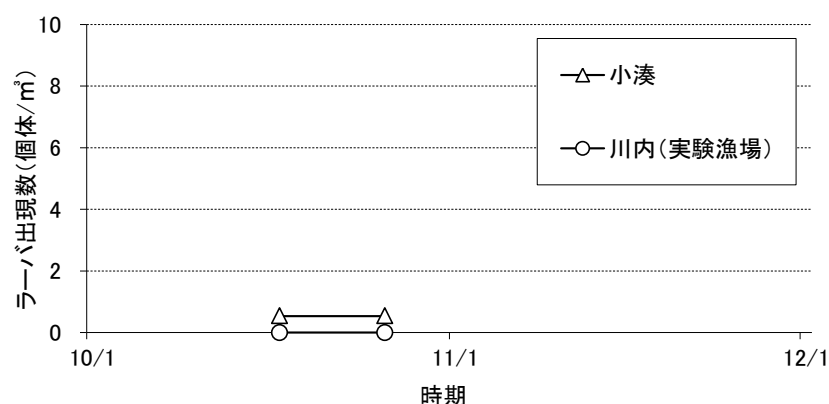


図2 ユウレイボヤラーバ出現数の推移(東湾)

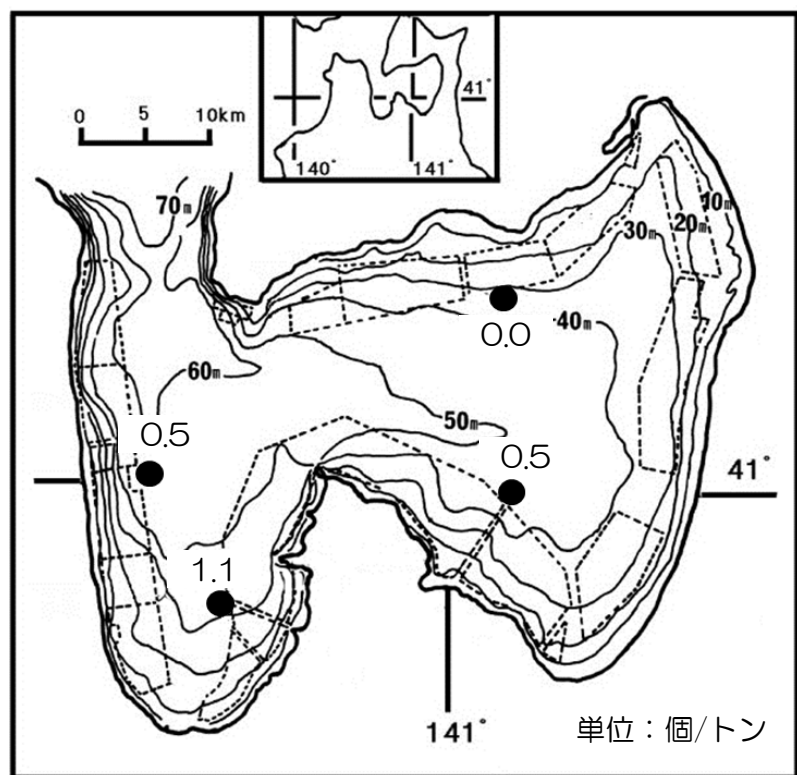


図3 調査地点別のユウレイボヤラーバ出現数(10/26)

発行元：地方独立行政法人

青森県産業技術センター 水産総合研究所

住所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

TEL：017-755-2155 FAX：017-755-2156

ホームページURL：http://www.aomori-itc.or.jp/

携帯電話URL：http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2244



陸奥湾観測データ総合管理システムホームページ

ホームページURL：http://www.aomori-itc.or.jp/zoshoku/o_system/inter_top.html

携帯電話URL：http://www.aomori-itc.or.jp/zoshoku/o_system/inter_i_top.html



平館、奥内
青森、東湾
野辺地、浜奥内



蓬田、東田沢
清水川、横浜
川内、脇野沢